取扱説明書

屋外用投光器型スポットライト
（防雨型.専用トランス内臓型）
ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品番	適合ユニット	使用電圧
AD-2203	Power LED 6（白色）100V 4.8W	AC100V(±6%)

この取扱説明書のマ-クについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマ-クについている説明文は、必ず守ってください。
🚫 このマ-クについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

● 取り付け　取り扱い上の注意

⚠警告

❗ 光源LEDを直視すると目を傷めることがあります。
★十分ご注意ください。

🚫 一般屋外用器具(防雨型)です。
振動や衝撃の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接地帯(塩害地域)では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

🚫 次のような場所には取り付けないでください。
○補強材の無い場所への取付け。（ボックスに取り付ける場合を除く）。
○樹脂製ボックスカバ-への取り付け。
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属性ボックスカバ-に取り付けてください）。
○凸凹のある面には取り付けないでください。 ○雨水が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所
★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。
○浴室などの湿気の多い場所への使用。○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

🚫 濡れた手で作業しないでください。
★感電事故の原因となります。

🚫 ドライバ-など異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

🚫 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

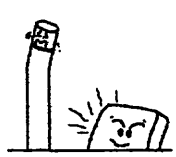
❗ ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖ(定格電圧±6%)の電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。

❗ この器具は周囲温度-20℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、ユニット寿命短縮の原因となります。

🚫 調光器（ライトコントロ-ル）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。

🚫 ヒビの入ったカバ-や、一部の欠けたカバ-は使用しないでください。
★カバ-の破損、落下の原因となります。

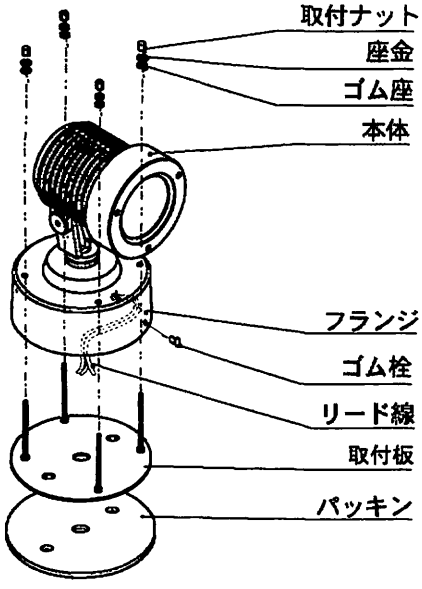


🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバ-のヒビ割れなどの原因となります。

● 各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

■ 器具構成図



■ 付属品

自己融着テープ ―――― 2枚

六角レンチ（M6用）―――― 1本

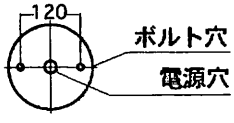
取扱説明書（本書） ―――― 1枚

保証とアフターサービスについて －1枚

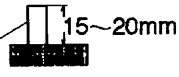
● 取り付け場所の確認

⚠ 警告 ❗ この器具はボルト止め専用です。必ずボルトにて取り付けてください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となります。

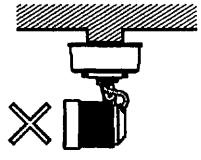
■取り付けピッチと電源位置



■取り付けボルト出し寸法
ボルト(φ8～φ10)



● 取付面が本体パッキンより小さい天井面



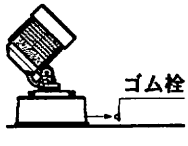
⃠ 上面取り付けの場合、
次のような場所では使用しないでください。
★指定以外の方向に取り付けると、
感電、漏電事故の原因となります。

● 取り付け方 ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

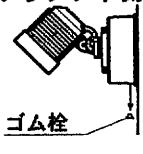
⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。
❗ 接地（アース）工事、電気設備技術基準に従って確実に行ってください。
★接地（アース）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。

■ 器具を取り付ける前に
①フランジにセットされている4ヶ所の取り付けナットを
はずして、取り付け板をはずしてください。
②取付け方向に従ってそれぞれ水抜き用ゴム栓を はずしてください。

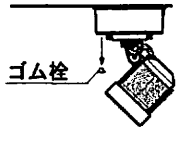
置型の場合
フランジ側面



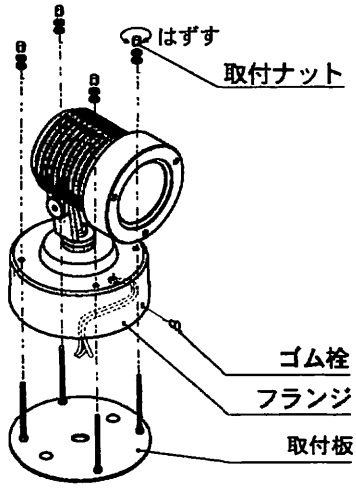
壁付けの場合
フランジ下側



天井付けの場合
フランジ下側



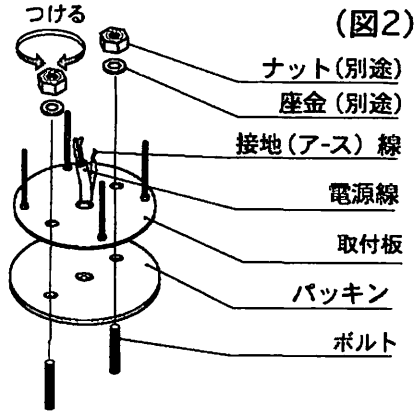
1、器具取り付け面を平らに 仕上げます。
取り付け面に凸凹がありますと、取り付け部のパッキングの防水性が損なわれますので十分ご注意ください。



2、取付板を取付ます。
パッキンと取付板の中央から電源線と接地（アース）線を
引き出し、取付板を、座金、ナットで
しっかり締め付け固定してください。

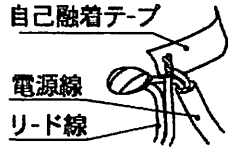
⚠ 警告 ❗取付方向が指定されている場合は、
必ず指定されている方向で取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、
器具落下によるケガの原因となります。

⃠ 器具取り付け面には、フランジ内への雨水侵入防止のため
平らな面に必ずパッキンを介して取り付けをしてください。



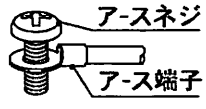
(図2)

3、電源線を接続します。
電源線とリード線を接続してください。
裸線が見えない様に、自己融着テープで
しっかりと巻付けた上、絶縁テープを巻いてください。
★不良の場合、感電、漏電の原因となります。



(図3)

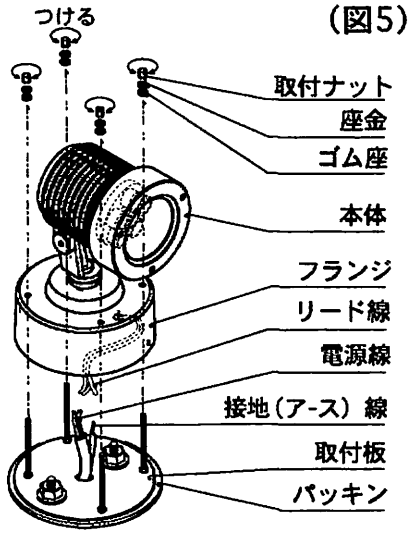
4、アース端子を接続します。
＊必ずD種(第三種)接地工事を施してください。
D種(第三種)接地工事は、電気設備技術基準に従って
確実に行ってください。
❗★接地（アース）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。



(図4)

5、灯体を取付板にセットし、ゴム座、座金、取付ナットを
工具でしっかり締め付け固定してください。

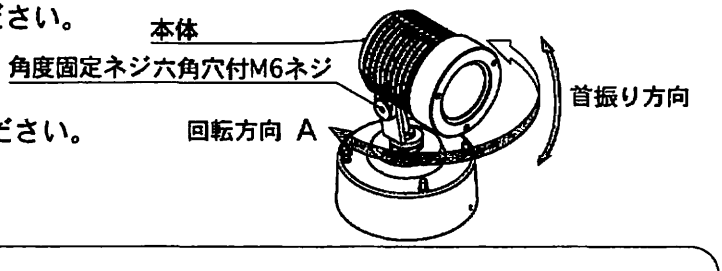
⚠ 警告
❗ゴム座、座金は必ずはめ込んで本体と取付け面に
隙間が出ない様、しっかり締め付けてください。
隙間があったり、凸凹の面に取り付ける場合は、
コーキング処理を施してください。
★締め付けが弱かったり、隙間があると
感電、漏電や器具落下による器具その他の
破損やケガの原因となります。



(図5)

6、任意の照射方向に器具を合わせてください。
A方向に回転する場合は、本体をまわしてください。

首振り方向は、
角度調節をして角度固定ネジを締め込んでください。



(図6)

● スイッチ操作

壁スイッチにてON-OFF操作を行います。
⃠ ガラスは強化ガラスを使用していますが、割れることもありますのでご注意ください。

お手入れについて ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を　照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから行ってください。
★感電事故の原因となります。

●シンナ-やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ-などは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■ユニットの交換

⚠ 注意 この器具は、構造上お客様が光源ユニットを交換することができません。
メンテナンスの際は、別紙のサ-ビス窓口までご相談ください。

■お手入れのしかたについて

1.スイッチを切ります。
2.柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3.汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4.最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフタ-サ-ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し
器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、
お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サ-ビス受付窓口までご相談ください。